

**那須塩原市新庁舎オフィス環境整備業務委託
公募型プロポーザル評価要領**

1 本評価要領の目的

本評価要領は、那須塩原市オフィス環境整備業務委託公募型プロポーザル実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、評価方法並びに契約候補者及び次点者の特定方法を示すものである。

2 評価方法及び契約候補者の選定方法

- (1) 本プロポーザルの審査は、二段階審査方式で実施する。
- (2) 審査にあたり「那須塩原市新庁舎オフィス環境整備業務委託に係る選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置する。
- (3) 参加資格等審査
参加申請書等の提出書類に基づき、参加者の資格要件及び配置技術者の業務実施上の要件を満たしているか事務局において審査を行い、企画提案書等の提出を要請する者（以下「提案者」という。）を選定する。
- (4) 企画提案等審査
 - ① 企画提案、プレゼンテーション及び価格提案について評価を行い、契約候補者を選定する。
 - ② 提案者を対象にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、選定委員会が本評価要領に基づき企画提案書の評価項目の採点を行う。最も評価点が高い者を本業務の契約候補者とし、2番目に高い者を次点者として特定する。
 - ③ 採点を集計した評価点の最高点と同じ者が2者以上となった場合は、企画提案の評価点が高い者を契約候補者として特定する。
 - ④ 最高評価点と同じかつ企画提案の評価点と同じである場合は、選定委員会の委員長が判断し契約候補者を特定する。
- (5) 配点は次のとおりとする。

評価項目		配点	備 考
参加資格等審査	参加者・配置技術者実績	70	事務局による確認
企画提案等審査	企画提案書（テーマ別提案）	280	40点×委員7名
	プレゼンテーション	280	40点×委員7名
	価格提案書	70	事務局による確認
合 計		700	

3 参加資格等審査の評価基準

参加資格等審査における評価項目、評価基準及び配点は次のとおりとする。

評価項目		評価基準		配点
参加者・配置予定技術者実績	参加者 (会社)	同種業務または類似業務の実績を評価 ※5件まで評価		14
	配置 予定技術者 (担当者)	管理技術者	同種業務または類似業務の実績を評価 ※5件まで評価	28
		担当技術者①	同種業務または類似業務の実績を評価 ※5件まで評価	14
		担当技術者②	同種業務または類似業務の実績を評価 ※5件まで評価	14
	小計			70

(1) 参加者・配置予定技術者実績

① 参加者の評価項目

1件当たり2.8点とし5件まで評価する。実施要領に記載の同種業務および類似業務に応じて1件当たりの配点に次の比率を乗じた点数をもって採点する。

業務種別	評価比率
同種業務	1.0
類似業務	0.8

② 配置予定技術者の評価項目

ア 管理技術者

1件当たり5.6点とし5件まで評価する。実施要領に記載の同種業務及び類似業務に応じて1件当たりの配点に「3(1)①」の比率を乗じた点数をもって採点する。

イ 担当技術者

1件当たり2.8点とし5件まで評価する。実施要領に記載の同種業務及び類似業務に応じて1件当たりの配点に「3(1)①」の比率を乗じた点数をもって採点する。

4 企画提案等審査の評価基準

評価項目		評価基準 (キーワード・観点)	配点 (点/人)	小計
企画提案書	【テーマ１】 業務実施方針	適切なスケジュール・体制と なっているか。 円滑な事業推進のための工夫 と方策がとられているか。	5	280
	【テーマ２】 来庁者にとって快適で利用しやすい庁舎	快適で利用しやすい庁舎への 考え方が提案されているか。 コロナ後の地方自治体庁舎の 特性を踏まえた実現性の高い 提案となっているか。	5	
	【テーマ３】 効率的機能的な執務空間の創出及び将来 のオフィス環境の変化に対応可能なレイ アウト	効率的で機能的な執務空間へ の考え方が提案されている か。 コロナ後の地方自治体庁舎の 特性を踏まえた実現性の高い 提案となっているか。	20	
	【テーマ４】 自社の独自性・優位性	コストに十分に配慮され、か つ独自性・優位性があり本市 にとって有効な考え方の提案 となっているか。 経験や実績に基づく具体的か つ実現性の高い提案となっ ているか	10	
	小計 ※選定委員 1 名あたり		40	
プレゼンテーション・ヒアリング		説明がわかりやすいか 取組意欲が感じられるか ヒアリングへの回答が的確か ※選定委員 1 名あたり	40	280
価格提案		(最低見積金額／提案見積金額) × 70		70
参加者・配置予定技術者実績		参加資格等審査の評価基準・配点を引き継ぐ		70
合 計				700

(1) 企画提案書の評価項目

企画提案書の内容について選定委員会が評価を行う。

① 採点方法

選定委員1人の持ち点を40点とし、企画提案書の各評価項目の配点に次の比率を乗じた点数をもって採点する。

評価	評価比率
A：極めて優れている	1.0
B：優れている	0.8
C：適切である	0.6
D：やや不十分である	0.4
E：不十分である	0.2

② 評価点の算出

全委員（合計7名）の点数の合計点を評価点とする。（最高点：280点）

(2) プレゼンテーション・ヒアリング

① 採点方法

選定委員1人の持ち点を40点とし、0.1刻みの10段階での評価比率をもって採点する。

評価	評価比率
極めて優れている	1.0
...	...
不十分	0.1

② 評価点の算出

全委員（合計7名）の点数の合計点を評価点とする。（最高点：280点）

(3) 参加者・配置予定技術者実績

参加資格等審査の点数による。（最高点：70点）

(4) 見積書（価格）

提出された見積書の金額（税込）について、次の算出式により評価点を算出する。算出した評価点に端数が生じる場合は、小数点第2位を四捨五入する。

$$A = (\text{最低見積金額} / \text{提案見積金額}) \times 70 \quad (\text{最高点：70点})$$